

賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組

入職促進に向けた取組	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組を実施している。
資質向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等をしている。
	エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等を導入している。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会を確保している。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実を図っている。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等を整備している。
	有給休暇が取得しやすい環境を整備している。
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口を設置している。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策を実施している。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックを行っている・
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等の ICT 活用により業務量の縮減を図っている。
	高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化を図っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減に取り組んでいる。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善を行っている。

	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会を提供している。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会を提供している。